



グループによる熱心な意見交換の後、それぞれのまとめを発表しました

空き店舗は目立つ

でも…、だから…

きれいな街並を活かしたい

しゃべり場の主な意見

良いところ

- ・まとまった再利用可能な土地が点在
- ・人情、会話がある
- ・専門的に優れた店が多い
- ・店主は知識・技能の宝庫
- ・アーケードがあり雨でも歩きやすい
- ・イベント、祭りが多い
- ・ストリートフェスタは良い計画
- ・官庁街の緑がきれい。桜がきれい
- ・街並みが美しい、基盤目状で道路も広い
- ・公共・公益施設が集中している
- ・官庁街、商店街、繁華街が隣接
- ・インフラ整備が十分、住みやすい
- ・市街地は100年かけた歴史的遺産

悪いところ

- ・中心市街地エリアが広すぎる
- ・商店街が南北に長すぎる
- ・休日に閉店多く商店街に行きたくない
- ・早く店を閉める所が多い。夜暗い
- ・店がない、空き地が多い。歯抜け状態
- ・地形が悪く、再利用しにくい
- ・協調意識がない、団結できていない
- ・食品店がない、店の業種が少ない
- ・昼の飲食店や喫茶店が少ない
- ・買いたいもの（魅力あるもの）がない
- ・なんだか入りにくいお店が多い
- ・接客態度が悪い
- ・シャッターをなくした方がいい
- ・商店街の店構えが暗い汚い
- ・何を売っているかわからない店がある
- ・若者や子どもの遊び場、お店がない
- ・アーケードが店を分かりにくくしている
- ・イベントがまだ少ない。工夫が足りない
- ・市内を紹介する案内所がない
- ・特産物を買える所がない
- ・情報誌がない。フリーペーパーが欲しい
- ・歴史が語られていない。継承がない
- ・街並みの美しさを活かさきれていない
- ・商店街に緑が少ない
- ・中心市街地へのアクセスが良くない
- ・駐車場が少ない、狭い、分かりにくい
- ・トイレがない
- ・休憩場が少ない。歩き疲れる

中心市街地の活性化のため、事業の方向性、内容などをみんなで考える「街づくり・しゃべり場」。2回目の開催では、市街地の「ユウユウ・悪ユウ」をユウユウ話し合いました。

街にぎわいをと、空き店舗の再活用や各種イベントが行われている中心市街地。しかし現状は、依然厳しいまま。そこで、もっと具体的に、もっと効果的に、民間も行政も力を合わせて事業を進めるため、「中心市街地活性化基本計画」の策定を平成20年度内に予定しています。

「街づくり・しゃべり場」は、中心市街地の長所・短所を分析し、課題の設定、事業の提案を行い、同計画に反映させることが目的。商店街関係者のほか、街づくりに関心のある市民どなたでも参加できます。

これまで、2回のしゃべり場を中央商店街の市民ふれあいホールで実施。1回目は、活性化の方向について

の学習、2回目は、市街地の現状分析を行い、街の誇るべき点、反省すべき点などを話し合いました。

便利で住みやすいけれど、商店のやる気に疑問

「病院や文化・体育施設、銀行などがそろっていて便利」「基盤目状の街並みはきれいだし、住みやすい」「イベントがたくさんあって、活気もある」

多くの長所があげられるとともに、それにも増して、

「お客を迎えようという意識がないのか、接客態度が横柄」「官庁街と

みんなの〴〵思い〴〵で元気に

問い合わせ先 商工労政課

(☎) 5111 内線 345・346

今後、十和田市らしい街づくりに、市民みんなの「思い入れ」を活かしたいと考えます。どうぞ、ご意見・ご提案をお寄せください。

次回のしゃべり場は、10月18日に市民ふれあいホールで開催します。

商店街の接続に配慮がない」「閉店時間が早いし、空き店舗ばかりが目立つ」「休める場所もないし、トイレもない。お昼ごはんを食べる店も少ない」など、気になる問題点が続々挙げられました。

また、「アーケードは立派だし、雨でも歩きやすい」反面、「アーケードのせいで店が分かりにくい」「専門的に優れた店が多い」のに、「専門知識が活かされていない、伝え方が下手」などの指摘も。